

2020年度 愛臨技 第2回輸血検査研究会アンケート

閲覧期間: 2021年2月13日(土)~2月26日(金)

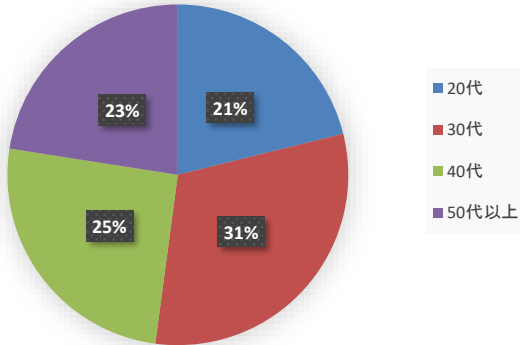
配信方法: Web録画

テーマ: 精度管理調査報告会~輸血検査の内部・外部精度管理を再考しよう~

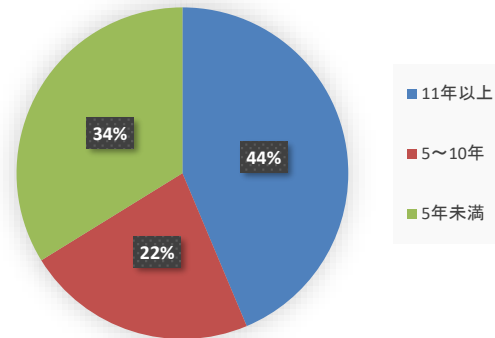
申し込み総数:100名 * アンケート回収:71名 (回収率71%)

* 愛臨技会員97名、他県会員1名、賛助会員2名

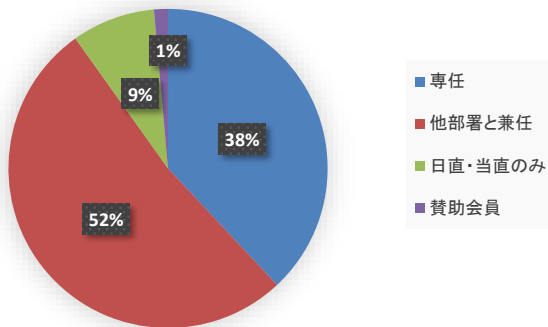
<アンケート1>年代について



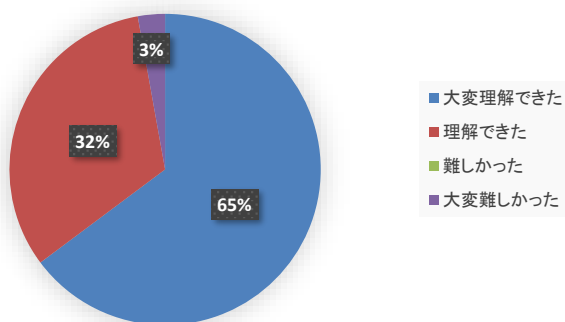
<アンケート2>輸血業務経験年数について



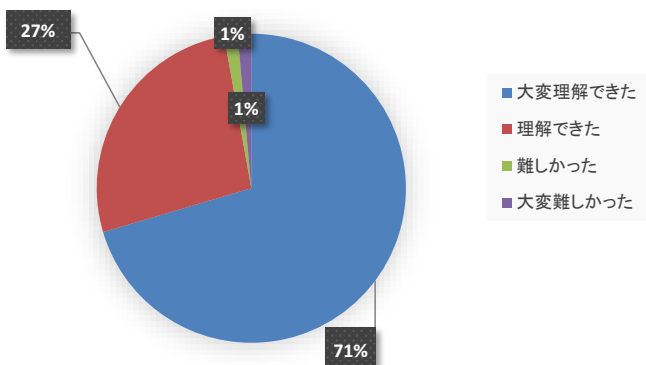
<アンケート3>勤務形態について



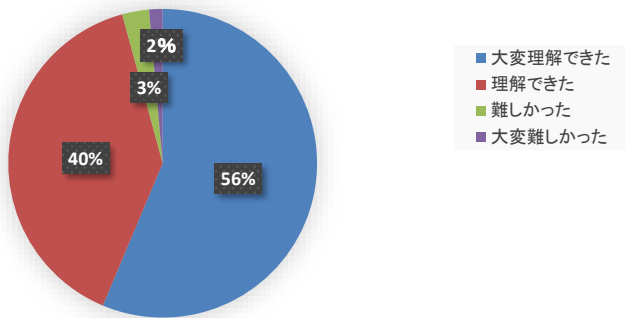
<アンケート4>「講演1 2020年度精度管理報告」の内容は分かりやすかったですか？



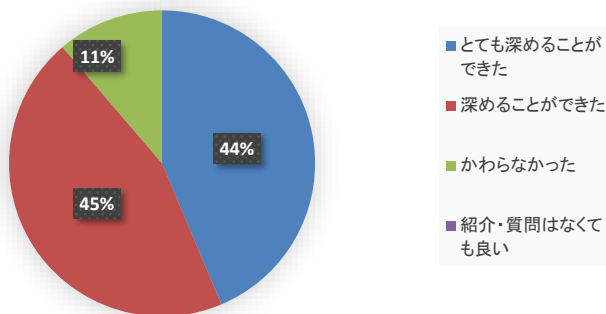
<アンケート5>「講義2 消去法について」の内容は分かりやすかったですか？



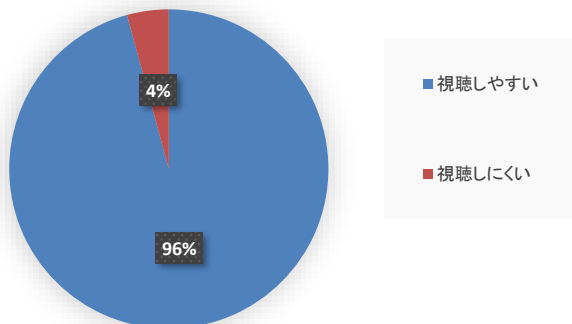
<アンケート6>「講演3 実践！輸血検査の精度管理」の内容は分かりやすかったですか？



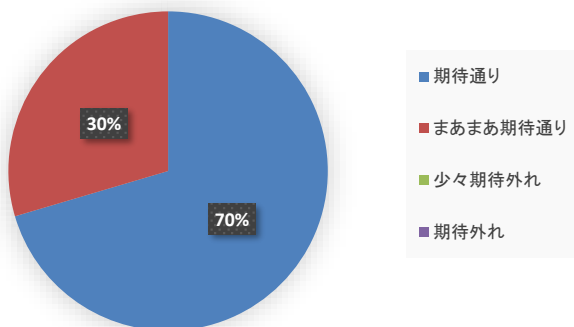
<アンケート7>「司会者による講師紹介および質問について」講演内容の理解を深めましたか？



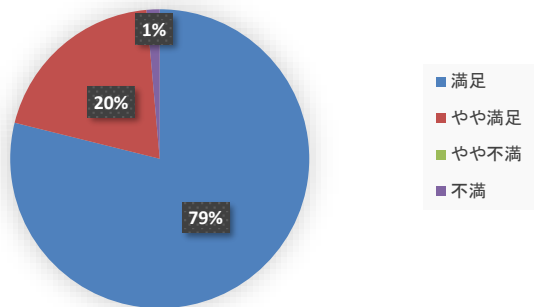
<アンケート8>今回の講演でWeb録画の視聴しやすさは、どうでしたか？



<アンケート9>あなたの期待と講演内容は一致しましたか？



<アンケート10> 研究会全体を通して満足されましたか？



<アンケート11> その他ご意見がありましたらご記入ください。

- ・全ての音声聞き取り易く撮影スキルの向上が確認できました。
- ・オンデマンドのため好きな時間に視聴できて良かった。
- ・司会者が早口で少し聞き取りにくかった。
- ・輸血検査の精度管理や消去法についてわかりやすく講演していただき、ありがとうございました。フォトサーベイの不規則抗体同定手順の解説を、お二人の講師がされていて重複した内容になっていたので、調整していただき良かったです。
- 赤血球型検査ガイドライン3版では、精度管理の記録を残す事となっており、講演いただいた温度、遠心機の管理に加えて、試験管法の試薬の精度管理をどのように行うべきか等についてもお話が聞けるとありがたいです。また、試験管法の遠心条件で、100～125G(1000rpm)、1分は現在は用いられていないのでしょうか？
- ・今年も定期的なWeb研修をお願いします。あと、生涯学習点数が出来る限り迅速に反映されるとありがたいです。
- また、他県の講演を視聴したり、他県から視聴されても点数に反映されるシステムを構築されるとさらに良いと思います。
- ・演者の話し方に抑揚がなく、聞きづらいものがあった。
- 原稿を読む形になると思うが、もう少し抑揚をつけてもらえると聞き取りやすいと思う。
- ・期限を過ぎてからの申込みで大変ご迷惑をおかけしました。快く対応していただきありがとうございました。
- (講演3について)PDFのファイルサイズがもう少し小さいと大変助かります。
- ・全体的に話のスピードが速すぎることなく、聞き取りやすかったです。
- ・医療法により求められている輸血検査の(内部)精度管理として、どのくらいの頻度が適切か、県の技師会、あるいは輸血細胞治療学会から推奨される手順など、提示いただけると有難いです。
- ・資料の見方がわからなかった。
- ・他県からの参加でした。出題内容や正答率の高さから、県全体での技術向上に励んでいることが伝わりました。不規則抗体同定は解釈に悩みましたが、解説がわかりやすく、再確認ができました。